

事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日)

1 事業の経過およびその成果

当社は北陸新幹線金沢・敦賀間開業に合わせて、北陸本線の運行を担う第三セクターとして2019年8月に設立し、開業準備を進めてまいりましたが、2024年3月16日に無事開業を迎え、鉄道事業を開始いたしました。当期は開業を迎え、さまざまな仕上げとなる事業を実施するとともに、開業後半月間新たな体制で安全・安定運行に努めました。

(1) 体制整備

会社資本については、7月に県内21企業から合計1億300万円の追加出資をいただき、資本金総額を26億2,300万円に拡充しました。

組織体制については、11月に駅、指令所、運転管理センター、車両管理センター、施設管理センター、電気管理センターなど開業後の鉄道運行実施体制に合わせた組織変更を行いました。

人員体制については、2024年3月にJR西日本からの出向者を追加で受入れ169名とし、プロパー社員90名、県退職派遣者10名と合わせ269名の体制で開業しました。

(2) 施設整備

開業までの設備投資については、指令区間の分離工事、券売機・改札機等のICOCAシステムの改修、気象情報・列車走行位置情報等の各種システム整備など、運営に必要な施設・設備等の整備・調達を行いました。

また、2024年3月14日にJR西日本と資産譲渡契約を締結し、譲渡金額約78.4億円でJRの所有する鉄道資産を譲り受けました。

(3) 運賃・ダイヤ等

運賃については、経営計画のとおり、ハピライン開業前と比較して定期外および通勤定期は1.15倍、通学定期は1.05倍の水準とし、2023年10月に上限運賃の認可申請、12月に実施運賃の届出を行い、公表しました。

ダイヤについては、普通列車を20本増便するとともに、快速列車を9本新設し、1日131本の運行としました。日中においては概ね毎時一定時刻に駅を発着するパターンダイヤを導入し、分かりやすいダイヤとしました。

9月に中部運輸局に申請、12月に概要ダイヤ、1月に詳細ダイヤを発表するとともに、1月中旬から2月上旬にダイヤや運賃、乗車券の購

入方法などについて、利用者の皆様に向けた説明会を開催しました。

また、マイレール意識醸成と利用促進のため、10月にハピラインファンクラブを設立し、2024年3月末現在、会員数は約2,800人になりました。

(4) 開業日から3月末までの鉄道事業

2024年3月16日の開業日には、早朝に福井駅ホームで「開業記念出発式」を行い、その後、コートヤード・バイ・マリオット福井で「北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式・祝賀会およびハピラインふくい開業祝賀会」を行いました。

開業日当日は福井駅周辺でのイベントや航空自衛隊の「ブルーインパルス」展示飛行等により、利用者数が想定を大きく上回ったことから、福井駅等の券売機に長い行列ができ、ホームも非常に混雑しました。これを受け、3月18日に福井駅に2台目の券売機を前倒しで導入するとともに、駅員による券売機操作のサポート体制等を整えたことにより、それ以降の同様のトラブルは発生していません。

開業日から3月末日までの16日間の利用者総数は371,824人で、1日平均は23,239人、経営計画で目標としている1日平均2万人を大幅に上回りました。2024年3月期における運賃収入は1億3561万135円となりました。

(5) 不祥事の発生

2024年3月21日にJR西日本からの出向社員が福井駅事務室内の金庫から現金を着服したことが判明し、事実説明とお詫びのため3月29日に本社にて記者説明を行いました。

株主の皆様、県民および利用者の方々の弊社に対する信頼を大きく損なう事態となったことは誠に遺憾であり、心よりお詫び申し上げるとともに、今後、このような不祥事が再び起こらないよう、再発防止策を徹底してまいります。

2 対処すべき課題

(1) 鉄道事業

恒常的な安全・安定運行を行いながら、利便性の向上に努めてまいります。

まずは開業から1年間、効率的な車両（16編成32両）運用を図りながら、定期便（131本/日）の運行を行うとともに、必要に応じた臨時列車・臨時増結を図ってまいります。

① 混雑緩和

- ・帰宅時間帯となる平日夕方の一部の普通列車（2両編成）を4両編成に臨時増結

発駅	着駅	増結日
福井 17:39	敦賀 18:30	4/12、15、22～26、30 計8日間
敦賀 18:40	芦原温泉 19:57	
芦原温泉 20:02	福井 20:19	5/1、2、17、24、27～31 計9日間

- ・ゴールデンウィークなど利用者が多い土日・祝日の午後の混雑を緩和するため、福井～敦賀間で臨時列車4本（4両編成）を運行

発駅	着駅	増便日
福井 13:00	敦賀 13:50	4/27～29、5/3～6 計7日間
福井 16:27	敦賀 17:17	
敦賀 14:17	福井 15:22	5/11～12、18～19、25～26 計6日間
敦賀 17:50	福井 18:41	

- ・桜マラソンの対応として、3月31日(日)の多くの参加が見込まれる時間帯に臨時列車を3本運行
- ・サンドーム福井のコンサート対応として、4月20日(土)に4本、4月21日(日)に3本、5月25日(土)に4本の臨時列車（福井駅～鯖江駅間、鯖江駅～敦賀駅間で途中駅には停車しない臨時快速）を運行
- ・今庄そばまつりの対応として、5月26日(日)に2本の臨時列車を運行（福井駅～今庄駅間）

② 敦賀駅の乗換機能およびハピラインふくい線の輸送力の改善

5月15日にJR西日本金沢支社長に次の2点を要望

- ・敦賀駅の乗換設備の改善のため、交通系ICカード用の乗換改札機とハピラインふくい線の自動券売機の早期設置
- ・輸送力を改善し混雑を解消するため、JR西日本が保有している521系車両の追加譲渡

(2) 設備投資

新駅（王子保・武生駅間）の工事に着手するとともに、森田駅および丸岡駅のパークアンドライド駐車場の舗装工事を行います。

また、福井駅の窓口整備、敦賀駅構内の乗務員宿泊施設整備、車両を当社デザインにするためのラッピング、本社の移転整備などを行います。

(3) 利用者にわかりやすい利用案内

当社と I R いしかわ鉄道、J R 西日本との連絡運輸の範囲やイコカの利用範囲、敦賀駅での乗り換え方法、当社と J R 北陸新幹線・特急との乗り換え時間について、ホームページや駅掲示などにより、利用者にわかりやすい案内に努めてまいります。

(4) 利用促進策

1日131本とした開業ダイヤを基本に、ニーズに応じた臨時便の運行や増結等により利用者を確保するとともに、以下の事業を実施し、新幹線開業により増加が期待される来県者等の取り込みを図ります。

- ・土日祝日、GW、お盆、年末年始限定で、当社区間が1日乗り放題となるフリー切符を販売
- ・福井鉄道およびえちぜん鉄道と連携し、3社区間が1日乗り放題となるフリー切符を数量限定で販売
- ・I R いしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道と連携し、観光列車の共同運行を実施。また、3社区間が2日間乗り放題となるデジタルチケットの販売や列車内の中吊り広告による共同観光PRを実施
- ・当社、福井鉄道、えちぜん鉄道、J R 越美北線、J R 小浜線を対象とするデジタルスタンプラリーを実施
- ・沿線市町で開かれるイベントや四季の催しに合わせ、普通列車を活用したイベント列車の運行を実施
- ・当社独自の特色ある観光列車の導入検討

また、ハピラインふくいファンクラブの会員募集を継続し、会員を対象としたイベント等の開催等を通じて当社に親しみをを持っていただき、マイルール意識の醸成を図ります。

(5) 人員体制

J R 西日本からの出向者169名を10年で解消するために引き続き社員採用を行うとともに、今期からは新たに運転士養成(6名)を開始します。

(6) 売上金着服の再発防止策

福井駅で発生した売上金着服の再発防止策として、事件直後に服務規律の順守・徹底を全社員に周知するとともに、売上金の厳正な取り扱いについて駅社員へ個別指導を実施(4月)、全社員対象にコンプライアンス教育を実施(6月)いたします。

また、今後も定期的に服務規律の順守・徹底のための教育を行ってまいります。

計算書類

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,043,511	流動負債	9,908,489
現金および預金	1,660,976	買掛金	345
貯蔵品	143,696	未払金	9,473,402
未収運賃	209,713	未払費用	142,331
未収金	136,701	預り金	97,228
前払費用	20,536	未払法人税等	12,634
未収消費税等	842,031	預り連絡運賃	4,299
その他の流動資産	29,856	前受運賃	143,810
		賞与引当金	34,437
固定資産	8,404,302		
鉄道事業固定資産	8,307,595	固定負債	216,096
建設仮勘定	92,699	預り敷金	404
投資その他の資産	4,008	退職給付引当金	21,452
投資有価証券	100	補助金等受入金	178,200
その他	3,908	車両修繕引当金	16,039
		負債合計	10,124,585
繰延資産	1,111,805	(純資産の部)	
創立費	239	株主資本	2,435,033
開業費	1,111,565	資本金	2,623,000
		利益剰余金	△187,966
		その他利益剰余金	△187,966
		繰越利益剰余金	△187,966
		純資産合計	2,435,033
資産合計	12,559,619	負債・純資産合計	12,559,619

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
営業収益		216,241
営業費		287,801
営業損失		71,560
営業外収益		
雑収入	533	533
営業外費用		
創立費償却	718	
開業費償却	18,840	
株式交付費	721	
雑損失	15	20,295
経常損失		91,321
特別利益		
補助金	37,223	37,223
特別損失		
固定資産圧縮損	37,223	37,223
税引前当期純損失		91,321
法人税、住民税および事業税		2,926
当期純損失		94,247

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書
 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主 資本 合計	
		その他利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
		繰越利益 剰余金			
2023年4月1日残高	2,520,000	△93,718	△93,718	2,426,281	2,426,281
事業年度中の変動額					
新株の発行	103,000			103,000	103,000
当期純損失(△)		△94,247	△94,247	△94,247	△94,247
事業年度中の変動額合計	103,000	△94,247	△94,247	8,752	8,752
2024年3月31日残高	2,623,000	△187,966	△187,966	2,435,033	2,435,033

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。